

第1回 網走川流域治水協議会

議事概要

日 時：令和2年8月31日（月）

開催方法：書面による議事

関係機関：網走川流域治水協議会構成員

1. 流域治水プロジェクトについて

事務局より資料－1－1及び資料－1－2を構成員に事前に送付し、報告した。

2. 網走川流域治水協議会規約（案）

（1）事務局より資料2を構成員に事前に送付し、意見聴取をした。

（2）規約（案）について構成員から合意を得た。

3. 網走川流域治水プロジェクト（素案）

（1）事務局より資料3を関係機関に事前に送付し、網走川流域治水プロジェクト（素案）を確認した。

（2）素案内容について共有が図られた。

4. 今後のスケジュール（案）

（1）事務局より資料4を関係機関に事前に送付し、今後のスケジュールを確認した。

（2）進め方について構成員から合意を得た。

5. その他（質疑等）

（事務局）

気候変動による水災害リスクの増大に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」を計画的に推進できるよう連携を密にして取り組んでいきたいので、引き続きご協力をお願いします。

（網走市）

近年被災を受けた支川と一体となった整備を引き続きお願いしたい。内水氾濫対策も含め、大曲湖畔園地など浸水を許容するエリアも明確にしながら対策に取り組んでいきたい。

（大空町）

ハード整備に併せて災害発生時に誰もが災害情報を容易に入手できるようソフト面の整備も一体となって推進して頂きたい。

(美幌町)

流域内の全市町に FM あばしりが受信できるようになるなど災害時の情報の入手手段の推進を流域としてお願いしたい。

(津別町)

今後増えると予想されている雨量に対し、住民が安全に暮らせるよう国区間のハード整備に併せ、北海道の整備も推進して頂き、我々の管理区間も一体となった減災対策に取り組んでいきたい。